（参考様式第１号）

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏　名	GPSS ホールディングス株式会社 担当：		
	住　所	東京都港区芝 2-5-10 芝公園 ND ビル 6F		
眺望点	眺望区域	①田楽池周辺　②湯楽里館周辺		
	眺望点位置	①田楽池　②湯楽里館		
説明を行った関係者等		東御市　建設課		
実施日時		2026 年 4 月 1 日 16:00～	説明方法	対面

出された意見及び対応
（欄が不足する場合は別紙により対応してください）

番号	意見	配慮・見解
1	眺望点からの様子、対応について	直接見通す事ができない為、問題ない
2		フェンスの色の指定はない

※注１　説明に使用した書類を添付してください。
※注２　説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

（参考様式第２号）

⑧　行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏　名	①三菱 HC キャピタルエナジー株式会社（担当者：[redacted] ②GPSS ホールディングス株式会社　（担当者：[redacted] ③GPSS エンジニアリング株式会社　（担当者：[redacted]
	住　所	①東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング ②東京都港区芝 2-5-10 芝公園 ND ビル 6F ③　〃
説明対象とした範囲（自治会、地区名等）及び戸数		上八重原地区住民
上記を説明対象とした理由		「長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例」および「東御市環境をよくする条例」に伴う住民説明会の開催にあたり、東御市、区長および役員の皆様と協議した結果
住民説明等の方法		住民説明会による対面および意見公募
実施日時		2026 年 6 月 21 日
参加又は実施者数（人もしくは戸数）		別紙参照:東御市八重原住民説明会参加者名簿（20260621 開 催）.pdf

出された意見及び対応
（欄が不足する場合は別紙により対応してください）

番号	意見	配慮・見解
	別紙参照:意見回答書.doc	

※注１　説明に使用した書類を添付してください。
※注２　説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

（参考様式）（第11条・第13条関係）

意見回答書

作成日　2026年　　8月　　27日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県東御市八重原字白水平816-46

意見（質問・要望）	陳述者・提出者	回答
日東ボタンが当初工場を建設する際に、日東ボタン以外の事業者が土地を使用する事に対して当初なにか協定等は交わしたのか？ 例えば、事業以外には使わないなどの縛りがなかったのか？	参加者	㈱日東ボタンと東御市役所に確認したところ、特に無いとの回答だった。
設備トラブル時は、だれが責任を負うのか？	参加者	保守の責任者としては三菱HCキャピタルエナジー株式会社。
積立に関して、10 年経過後から内部積み立てをされるとして、開示予定はあるのか？三菱から出るのか？	参加者	開示する予定はなく、内部留保となる。三菱から出る。
説明会資料に樹木の伐採200 トンとあるが、正確に何本切る予定か？	参加者	60本程度
仮にこの事業を受け入れた場合、安全管理などを含めた協定を結びたいのだが、区と協定を結ぶ相手は誰になるのか？	参加者	三菱HCキャピタルエナジー株式会社

事業者との協定を結ぶ際、住民の立ち合いを認めるや、問題等があれば住民としての意見を述べる事が可能といった内容を協定書に盛り込む用意や予定はあるのか。	参加者	どういった場合に立会いを求めるか事前に定義するのは難しいが、事業期間中に大きなトラブルがあった場合は、お声がけさせていただく。立ち合いについては問題ない。
区内他事業者も協力金という形で年間 5 万円支払ってもらっているが、対応は可能か。	参加者	話は伺っているので検討していく。
どういった経緯で事業地に選んだのか？どこかから斡旋があったのか？	参加者	日東ボタンさんに使わせてくださいとGPSSホールディングス株式会社からお願いしたことがきっかけ。
昨今、盗難被害による話をよく聞くので、泥棒がやってきたりすることで町の治安が悪くなるのが近隣住民として心配。	参加者	銅線はなるべく使わずアルミを使ったものにしたり、物理的に盗んでも意味のないもの、精神的に盗みにくくするといった対応や防犯の工夫、対策をする。
造成するときに土を敷くというのはパネルの下、という意味か？ その際に敷いた土が流れないような処置は当然するとして斜面なので例えばシートなどを敷かなくていいのか？	参加者	発生土はパネルの下に敷き均しをする。その際、土砂が場外に流出しないようキャタピラにて転圧を行う。 防草シートの設置は計画していない。 パネルの下に土を敷く。その際の処理ももちろんするが基本は土のまま。
土のままだと雑草がひどくなるのではないか？薬などを撒く予定はあるのか？	参加者	年に 2 回の草刈りを業者に頼んで行う予定。 薬を撒く予定はない。無害な薬など、そういったものがあれば使うかもしれないが、あくまで現時点では刈るという形で考えている。
太陽光の延長更新の際に、まったく別事業として更新する予定はあるのか？	参加者	別事業の予定はない。あくまで太陽光の延長。

道路沿いの樹木は残置されるとのことだが、植樹について言及がない。景観のためにも新たな植樹を要望する。	参加者	道路沿いに植樹を行う方針（レッドロビン幼木150本程度）

完成予想図　田楽池
⑥



長野県
-8.10.-9
下伊那建設事務所収受

完成予想図完成予想図（拡大）田楽池
⑥

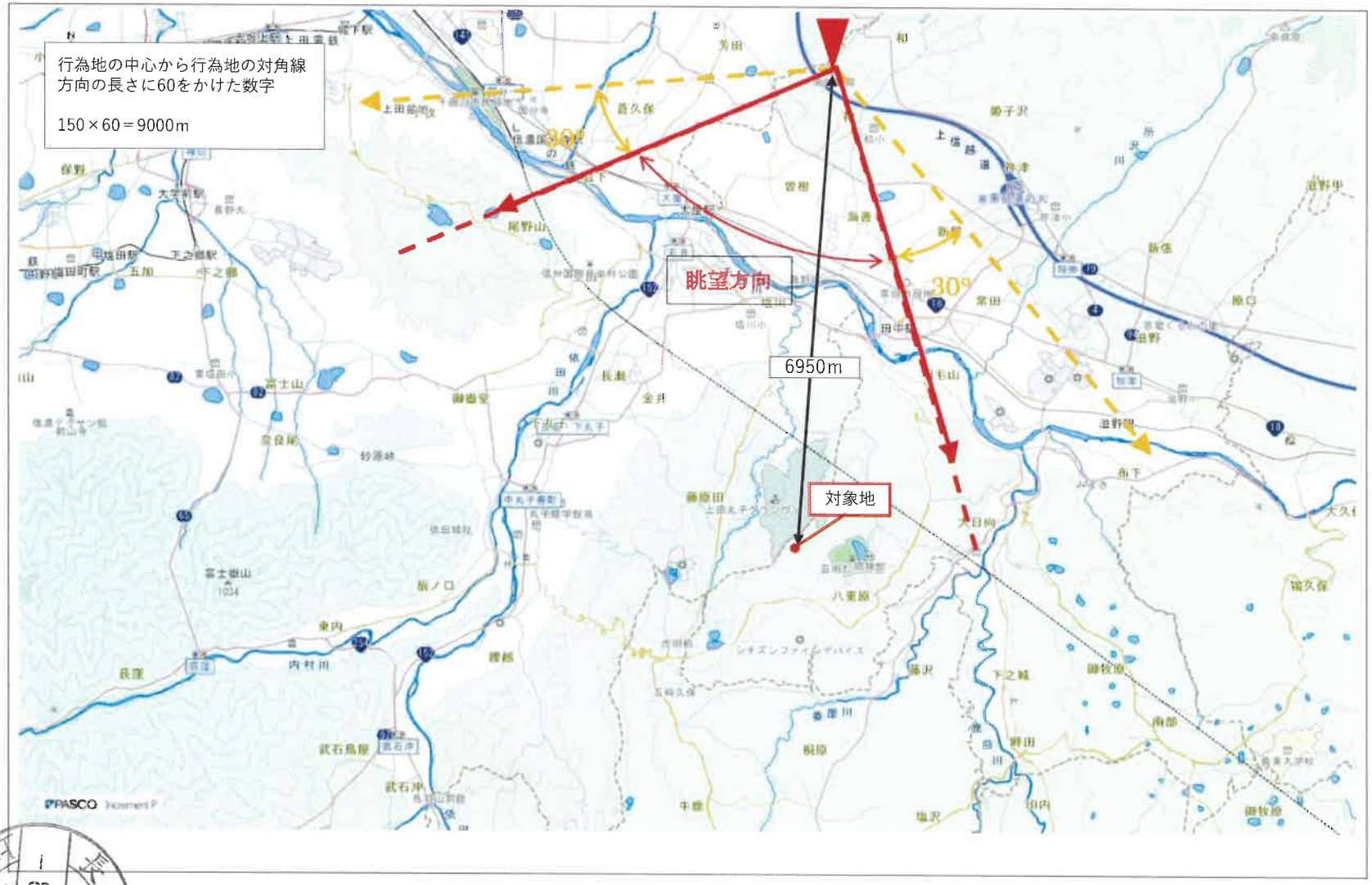
対象地は眺望点からは
遮蔽物により直接見通
すことはできません



受領
R1.6.9
下田建設事務所
収受

眺望点　湯楽里館

⑥⑦



収受 野沢 建設事務所 -3 JUN- 9

完成予想図　湯楽里館

⑥



野馬
受付 6-10-9
下田建設事務所

完成予想図完成予想図（拡大）湯楽里館
⑥

対象地は眺望点からは
遮蔽物により直接見通
すことはできません



長野 -810-6 竹田建設事務所 収受

（参考様式第３号）

⑨　太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項　目		検　討　事　項	配慮する内容
太陽電池モジュール	全体	(1)　稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではないが、周辺に林地や農地広がる敷地であるため、土地の造成等は排水施設の設置以外はならし程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2)　公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	1.4km離れた田楽池及び7.0km離れた湯楽里館の眺望点からは遮蔽物により直接視認することはできない。
	配置	(1)　敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	道路に隣接するため、境界の既設樹木は残置する。近隣の住宅から20m後退させた。
		(2)　施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地形状に合わせて法面には配置しないことで、パネルエリアを複数エリアに分割した。
	規模	(1)　周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	積雪を勘案しながらも景観に影響を極力与えないできる限りの高さを考慮し、パネルの最低部分を1.0m、最高部分は2.3mとした。
		(2)　主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	市道に向かってパネルを設置する計画。パネル角度は10度とするが、敷地境界には樹木を残置するため、圧迫感は比較的少ないと考える。
	形態・意匠	(1)　当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	地盤調査の結果、杭基礎を採用した。 効率の良い角度で揃えて配置した。
		(2)　太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形なりにパネルを配置し角度10度としているため、東側の林地や既設工場と調和していると考える。
		(3)　太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	パネルは道路側を向いているため、道路から裏面はほとんど見えない。

項　目		検　討　事　項		配慮する内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1)　低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され、結晶が目立たないものを選択した。
		(2)　黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒色を選択した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	ステンレス製とし、反射しにくいよう塗装した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	シルバーとした。
附帯施設・附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		施設の全周にフェンスを設置する予定をしているが、景観に配慮し茶色（7.5YR5/6）とした。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数とするよう検討した。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		すべてグレーベージュで統一した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		敷地内の樹木の伐採は必要最小限とし、道路境界の樹木は残置したうえで追加の目隠し植栽を行う計画とした。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		地域適性や維持管理性を考慮し、樹種を選定した。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		パネルは道路や住宅へ向いているが、確度が10度であり後退や植生により反射光の影響は少ないと考える。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		25年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。